

開催時期 (日数)	研修名	研修の レベル	研修のねらい	内容	対象
春期、冬期開催 (年2回開催) (4日間)	(上級) 特許調査研修 (審査官の視点に近づこう！) (旧検索エキスパート研修 [特 許])	上級	効果、効率的な先行技術調査手法や、特許審査官が進歩性をどのように判断するのかを学習いただくことにより、より品質の高い特許願書を作成する力、強く広い特許権を取得する力の向上を目指して開催	先行技術文献調査の基礎となる検索インデックスに関する講義に始まり、調査実務に関して、特許審査官の有するノウハウを織り交ぜながら解説します。 また、特許庁審査官OBの弁理士の指導の下、技術分野（機械・装置、化学、電気・電子）毎に引例選択演習、審査官用検索端末（一部機能制限あり）を利用した調査実習を行います。	中小企業などにおいて、 1.先行技術調査の業務に従事する方 2.技術動向調査業務に従事する方 3.知財情報の分析業務に従事する方 など
夏期開催 (3日間)	特許調査実践研修 (大阪工業大学共催研修)	中級	効果、効率的な先行技術調査手法や、特許審査官が進歩性をどのように判断するのかを学習いただき、より品質の高い特許願書を作成する力、強く広い特許権を取得する力の向上を目指して開催	（上級）特許調査研修と（初級）特許調査研修の中間レベルの研修。特許分類体系の概要や、新規性・進歩性の判断に係る基本的な考え方を解説する他、J-PlatPatを利用して特許性の判断に必要な特許調査を行い、検索報告書を作成していただきます。	中小企業などにおいて、 1.先行技術調査の業務に従事する方 2.技術動向調査業務に従事する方 3.知財情報の分析業務に従事する方 など
調整中 (令和4年度新設)	(初級) 特許情報活用研修 (簡易パテントマップを作ってみよう！) (旧知的財産活用研修 [活用検討コース])	初級	オープンイノベーションを考え、自社の特許権を実施しやすい環境を整備する力の向上を目的に開催	経営に役立つ知財戦略、中小・ベンチャー企業における知的財産の活用事例について学習するほか、特定技術分野の技術トレンド、リーディングカンパニーや協業の可能性のある企業（時には大学）を、見いだす簡易パテントマップをJ-PlatPatにて作成し、その使い方を学びます。	中小企業、研究機関などにおいて、 1.事業戦略などの企画、特許管理に従事する方 2.先行技術調査の業務に従事して経験の浅い方 3.研究に従事する方 など 大学などにおいて、 4.知的財産関連業務に従事する方 など
秋期開催 (3日間)	意匠調査研修 (審査官の視点に近づこう！) (旧検索エキスパート研修 [意 匠])	中級	J-PlatPatによる意匠権調査や先行意匠調査能力を一層向上することにより、製品の意匠権による有効な保護、権利化後の権利範囲を適切に捉えることができる人材の育成を目的として開催	意匠法及び意匠審査基準の概要など、意匠調査を行うにあたっての基礎知識を習得いただく座学講義の他、与えられた課題に対して受講生自らがJ-PlatPatを利用して先行意匠調査演習を行い、検索報告書を作成していただきます。	1.企業において先行意匠調査、意匠権調査の業務に従事する者 2.弁理士事務所等で先行意匠調査に従事する者 3.企業等で製品デザイン開発に従事する者 上記の内、実務経験1～5年程度の方を対象
冬期開催 (3日間)	(初級) 特許情報活用研修 (先行調査を覗いてみよう！) (旧知的財産活用研修 [検索コース])	初級	効果、効率的な先行技術調査手法や、特許審査官が進歩性をどのように判断するのかを学習いただき、より品質の高い特許願書を作成する力、強く広い特許権を取得する力の向上を目指して開催	中小企業などにおいて、先行技術調査業務や事業戦略、知財戦略の企画に従事して、まだ経験の浅い方を主な対象に、検索の基礎知識を修得するための座学講義や、与えられた課題に受講生自らが、J-PlatPatを利用して特許性の判断に必要な特許調査を行い、検索報告書を作成していただきます。	中小企業、研究機関などにおいて、 1.事業戦略などの企画、特許管理に従事する方 2.先行技術調査の業務に従事して経験の浅い方 3.研究に従事する方 など 大学などにおいて、 4.知的財産関連業務に従事する方 など